

キッズ防災士認定講座の始まり

キッズ防災士とは

各家庭で子どもと一緒に防災会議を開き、災害時の行動や連絡方法を話し合い、さらに近所の災害弱者（一人暮らしの方や心身に障害を持つ方）の命を守る防災コミュニティ活動を広げていきます。

私達は、子供たちに「キッズ防災士」の資格を準備し、さらに強力に進めていきます。

●【レッドキッズ防災士】

広島県みんなで減災推進課の防災出前講座を受講すると認定がもらえます。

学習例：マイタイムライン作成演習+防災シュミレーションゲームなど

キッズ防災士になると広島県プロスポーツチームの缶バッジがもらえます。



一般社団法人ひろしま防災減災支援協会とは

当法人は、自然災害によって大切な命を失われない社会の実現を目指し、広く一般市民等を対象として防災及び減災に関する知識普及と啓発活動を行うとともに、地域防災力の向上と災害時における被災地市民等の支援活動に取り組む団体及び市民等への支援を行うことを目的とし、令和元年6月設立しました。

◎役員 代表理事 柳迫長三

理事 小松 宏 ・ 津森正裕

◎主な活動

「鯉こいキャラバン」の出演



プラチナキッズ防災士の認定事業



安佐北区落合小学校
「防災フェスティバル」



地域に設置している
雨量計の説明。

「キッズ防災士」認定事業は、始まったばかりです。期待してください。

広島県内の小学校4～6年生を対象に、夏休みや冬休みを利用した4時間の基礎学習と地域の防災点検・マップ作製など屋外防災学習で、「プラチナキッズ防災士」として認定する事業を始めます。

◎教室での防災学習の例

- ・災害が発生すると予想される1週間前からの「そなえ」や「声かけ」をシュミレーションしてみます。（水害・土砂災害対応）
- ・南海トラフ地震（震度6強）が発生。（家族との連絡やライフラインが途絶した時の避難生活を実体験してみましょう）
- ・災害エスノグラフィを使った土砂災害の経験を避難の仕方を考えてみましょう。

【災害エスノグラフィとは、災害の追体験し、自分ならどう行動するか？どう伝えるか？を考える研修です。】

◎屋外での学習例

- ・通学路や地域の防災点検を行い、地域のお宝や災害の歴史を聞きましょう。
- ・家庭に備えている非常持出し袋の中身を点検し、実際に使ってみよう
- ・避難所運営のお手伝い（段ボールベットの組み立てや救援物資の配給など）
- ・断水時、飲み水の確保や簡易トイレを組み立て使ってみる。



プラチナキッズ防災士

ひろしま防災クラブ「防まもる」



家庭と地域をつなぐ防災クラブ「防（まもる）」で、中学卒業まで防災ボランティア活動を

- ◎県内福祉施設でボランティア（アイマスク・白杖・車いす）体験
- ◎地域で開催する防災教室で、キッズ防災士として講師を担当。
- ◎HTV「みんなで減災プロジェクト」企画に参加
- ◎JR（芸備線・呉線・福塩線）で巡る水害被災地視察
- ◎TOPS 広島（県内スポーツプロチーム）との交流
- ◎東日本大震災被災者や西日本豪雨被災者との交流
- ◎「鯉こいキャラバン」企画への参加
おもちゃの交換会やオークションに参加していただきます
- ◎その他、夏休みなどに計画します



被災地を走る芸備線

- ・加入条件：プラチナキッズ防災士
- ・会費：一千円（年間）
- ・期間：（中学卒業まで）

プラチナキッズ防災士の参加をお待ちしています

加入申し込み：（一社）ひろしま防災減災支援協会ホームページ又は、(090-3740-0325)へ連絡ください。